

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人 国立がん研究センター	
案件番号	2	
入札及び契約方式	公募型企画競争	
契約の件名及び数量	がん集学的治療多施設共同臨床試験支援業務委託契約	
契約締結日	平成28年3月3日	
契約の相手方の商号又は名称等	特定非営利活動法人がん臨床研究機構	
入札経緯及び結果	平成28年 2月 8日公告 平成28年 2月29日入札書等締切 平成28年 3月 2日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務内容について、具体的な業務内容の記載となるようにした
②業務等準備期間の十分な確保	○	開札3.2から業務開始4.1まで、約1ヶ月確保した
③公告期間の見直し	○	開庁日で15日間の公告期間を確保した
④公告周知方法の改善	○	ホームページへの掲載及び院内掲示を行った
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	×	該当業務を実施出来る他の業者をインターネットにて検索しても見当たらなかった
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
<p>該当業務を実施出来るような他の業者をインターネット上でも探す事は出来なかったが、万一、参加する業者がいた場合に備え、公告期間、準備期間を充分確保するよう心掛ける</p>		
契約監視委員会のコメント		
<p>センターによる改善取り組み内容の結果を注視したい (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)</p> <p>今回は、法人における事後点検の結果講ずることとした措置を確実に実行して、一社応札が改善できるよう努める</p>		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
<p>小野 高史(監事)、増田 正志(監事)、長崎 武彦(公認会計士)、加藤 一郎(弁護士)</p>		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

## 一者応札・応募等事案フォローアップ票

法 人 名	国立研究開発法人 国立がん研究センター	
案 件 番 号	3	
入 札 及 び 契 約 方 式	公募型企画競争	
契 約 の 件 名 及 び 数 量	地域がん登録標準システム運用支援業務委託契約	
契 約 締 結 日	平成28年3月11日	
契 約 の 相 手 方 の 商 号 又 は 名 称 等	一般社団法人がん統計センター	
入 札 経 緯 及 び 結 果	平成28年 2月10日公告 平成28年 3月 4日入札書等締切 平成28年 3月 8日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	全国がん登録へ段階的な移行に伴い、『新規導入に対する運用支援』業務を削除した
②業務等準備期間の十分な確保	○	開札3.8から業務開始4.1まで、約1ヶ月弱確保した
③公告期間の見直し	○	開庁日で17日間の公告期間を確保した
④公告周知方法の改善	○	ホームページへの掲載及び院内掲示を行った
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	×	該当業務を実施出来る他の業者をインターネットにて検索しても見当たらなかった
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
(本業務は今年度で終了、来年度は業務を行わない)		
契約監視委員会のコメント		
—		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
—		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史(監事)、増田 正志(監事)、長崎 武彦(公認会計士)、加藤 一郎(弁護士)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

## 一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人 国立がん研究センター	
案件番号	4	
入札及び契約方式	公募型企画競争	
契約の件名及び数量	がん対策加速化に向けた地域における情報提供・がん相談支援体制の強化と継続的な運用構築に係る支援業務	
契約締結日	平成28年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ミックス	
入札経緯及び結果	平成28年 3月 3日公告 平成28年 3月17日入札書等締切 平成28年 3月22日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	平成28年度より、認知度向上に向けたラジオドラマの製作業務や公立図書館との連携共催フォーラムの立ち上げなど新たな業務が追加された
②業務等準備期間の十分な確保	×	仕様書の大幅な変更により時間がかかった為、開札3.22から業務開始4.1まで、約10日程度しか確保出来なかった
③公告期間の見直し	×	仕様書の大幅な変更により時間がかかった為、開札日で11日間しか公告期間を確保出来なかった
④公告周知方法の改善	○	ホームページへの掲載及び院内掲示を行った
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	×	説明書を受領して競争に参加しなかった1社へ理由を確認したが、回答を得る事が出来なかった
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
仕様書の作成に時間がかかり、十分な公告期間・準備期間を確保する事が出来なかった。企画の見直しは毎回行われ、毎回業務内容が変更となるようなので、次回は仕様書の作成前から実際に業務に携わっている現場と連絡を取り合っ、十分な準備期間が取れるようにしたい		
契約監視委員会のコメント		
最大限の必要準備期間を検討し、仕様書、公告期間の見直しを図るなど、改善に向けた十分な取り組みを実施すること (法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
十分な準備期間を用意して、現場と十分な打ち合わせを行い、仕様内容の見直しも含めた1社応札改善への取り組みを実施する		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史(監事)、増田 正志(監事)、長崎 武彦(公認会計士)、加藤 一郎(弁護士)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

## 一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人 国立がん研究センター	
案件番号	9	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	旅費精算業務委託	
契約締結日	平成28年2月8日	
契約の相手方の商号又は名称等	日本電算企画株式会社	
入札経緯及び結果	平成28年 1月 4日公告 平成28年 2月 1日入札書等締切 平成28年 2月 2日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	具体的な業務内容の記載となるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	約2ヶ月間準備期間を確保して参加しやすいように確保した。
③公告期間の見直し	○	公告掲載を一月早めるとともに公示期間を20日間以上確保した。
④公告周知方法の改善	○	HP・院内にて掲示を行い、前回入札の際に説明書を取りに来ていた業者及び人材派遣会社、同種業務を請負可能な業者に入札情報の提供を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	○	理由を確認したところ、業務量に対して管理人員を含めると採算がとれない、人員の確保ができない、旅費の精算業務に精通した人員がいない、ため参加しないとの事だった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
築地と柏を併せた業務量であれば参加を検討したいとの業者があったことから、築地と共同入札の検討をしたい。		
契約監視委員会のコメント		
センターによる改善の取り組み内容の結果を注視したい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
次回は、法人における事後点検の結果講ずることとした措置を確実に実行して、一者応札が改善できるよう努める。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史(監事)、増田 正志(監事)、長崎 武彦(公認会計士)、加藤 一郎(弁護士)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における一者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

## 一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人 国立がん研究センター	
案件番号	10	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	病理組織標本院外倉庫保管管理業務委託	
契約締結日	平成28年3月18日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社メディオス	
入札経緯及び結果	平成28年 1月 4日公告 平成28年 2月 8日入札書等締切 平成28年 2月 9日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	具体的な業務内容の記載となるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	約2ヶ月間準備期間を確保して参加しやすいように確保した。
③公告期間の見直し	○	公告掲載を一月早めるとともに公示期間を20日間以上確保した。
④公告周知方法の改善	○	HP・院内にて掲示を行い、前回入札の際に説明書を取りに来ていた業者及び同種業務を請負可能な業者に入札情報の提供を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	○	理由を確認したところ、保管条件を担保できない、緊急の配送依頼の体制が確保できない、ため参加しないとの事だった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
業者の聴き取り等を勘案すると、当院の仕様を履行できる業者が現在見当たらない。また、仕様の追加を検討していることから随意契約としたい。		
契約監視委員会のコメント		
院外保管の理由を明確にして、コストと内製化を検討し院外保管が必要であるならば、配送と保管の分離や、大学等での実績調査を行い検討するなど、十分な取り組みを実施すること。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
指摘のとおり、配送と保管の分離をしてコストカットが図れるか、大学等で院外保管を行っている事例があるか調査し、検討のうえ契約を行いたい。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史(監事)、増田 正志(監事)、長崎 武彦(公認会計士)、加藤 一郎(弁護士)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

## 一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人 国立がん研究センター	
案件番号	11	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	医事室業務委託	
契約締結日	平成28年3月11日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニチイ学館	
入札経緯及び結果	平成28年 1月 8日公告 平成28年 2月 8日入札書等締切 平成28年 2月 9日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	具体的な業務内容の記載となるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	約2ヶ月間準備期間を確保して参加しやすいように確保した。
③公告期間の見直し	○	公告掲載を一月早めるとともに公示期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	HP・院内にて掲示を行い、前回入札の際に説明書を取りに来ていた業者に入札情報の提供を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	○	入札説明書の受け取りがなかったため理由を聴取したところ、契約期間が複数年でないこと、また柏で人員の確保が困難な状況のためとの事だった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
複数年契約で契約金額が下がるわけでは無く、現状維持が限界の状況である。今後、業務内容の縮小(窓口業務は職員化)も検討している。以上により、前回応札まで至らなかった業者に公告情報を伝達し、参加を促すこととする。		
契約監視委員会のコメント		
センターによる改善の取り組み内容の結果を注視したい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今回は、法人における事後点検の結果講ずることとした措置を確実に実行して、一者応札が改善できるよう努める。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史(監事)、増田 正志(監事)、長崎 武彦(公認会計士)、加藤 一郎(弁護士)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

## 一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人 国立がん研究センター	
案件番号	13	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	フェイスタオル賃貸借	
契約締結日	平成28年3月8日	
契約の相手方の商号又は名称等	東洋リネンサプライ株式会社	
入札経緯及び結果	平成28年 2月19日公告 平成28年 3月 3日入札書等締切 平成28年 3月 4日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	具体的な業務内容の記載となるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	開札から業務開始まで、約1ヶ月確保した。
③公告期間の見直し	○	開庁日で10日間の公告期間を確保したが、次回は20日程度を設定する。
④公告周知方法の改善	○	HP・院内にて掲示を行い、前回入札の際に説明書を取りに来ていた業者に入札情報の提供を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	×	説明書の受領業者が1社であった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
次回以降は寝具等賃貸借とベッメイク業務を業務委託する計画で仕様内容を詰めている。フェイスタオルを仕様の中に組み込み入札を行うことで1社応札を解消する予定である。		
契約監視委員会のコメント		
センターによる改善の取り組み内容の結果を注視したい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
次回は、法人における事後点検の結果講ずることとした措置を確実に実行して、一者応札が改善できるよう努める。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史(監事)、増田 正志(監事)、長崎 武彦(公認会計士)、加藤 一郎(弁護士)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

## 一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人 国立がん研究センター	
案件番号	21	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	国立がん研究センターにおける職員健康診断に関する業務委託	
契約締結日	平成28年 4月 1日	
契約の相手方の商号又は名称等	一般財団法人労働衛生協会	
入札経緯及び結果	平成28年 1月28日公告 平成28年 3月17日入札書等締切 平成28年 3月18日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務内容について、各担当者において確認し、具体的な業務内容の記載となるよう努めた
②業務等準備期間の十分な確保	○	開札3.18から業務開始まで、1年確保した
③公告期間の見直し	○	前回は開庁日で19日間だったが、今回は36日間の公告期間を確保した。
④公告周知方法の改善	○	ホームページへの掲載及び院内掲示を行った。前年度説明書受領者に入札情報を連絡した。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	○	応札しなかった業者に、アンケートを実施した
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
公告掲載の期間を延長し、参加業者の増加を図る。また、応札まで至らなかった業者に公告情報を伝達し、参加を促すこととする。		
契約監視委員会のコメント		
センターによる改善の取り組み内容の結果を注視したい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
次回は、法人における事後点検の結果講ずることとした措置を確実に実行して、一者応札が改善できるよう努める。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史(監事)、増田 正志(監事)、長崎 武彦(公認会計士)、加藤 一郎(弁護士)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。